

IoT や AI など高度な ICT 化に対応した情報基盤技術の強化と応用拡大
「インフォマティクス研究所」を設立
ビッグデータ解析の最先端技術などの研究開発を推進

平成 28 年 3 月 31 日

富士フイルム株式会社(社長:中嶋 成博)は、IoT(モノのインターネット)^{※1} や AI(人工知能)^{※2} といった高度な ICT^{※3} 化に対応した情報基盤技術の強化と応用拡大を図るために、平成 28 年 4 月 1 日付で、ビッグデータ解析などの情報科学^{※4} の最先端技術やソフトウェアの基盤技術の研究開発を行う新組織「インフォマティクス研究所」を設立いたします。

近年、ICT の進展により、世の中で発生するデータは爆発的に増加しており、またデータの種類も多岐にわたっています。集まったビッグデータをビジネスに活用する動きが活発化する中で、ビッグデータ解析の重要性がますます高まっています。現在、機械学習^{※5} やディープラーニング^{※6} に代表されるようにビッグデータを自動で解析するための研究が進み、AI の実用化が始まっています。既に研究開発の現場では、AI を用いて、既存データを解析することで新たな物質・材料を探索・開発したり、公開されている論文や自社の開発データを解析して新薬開発に役立てる取り組みが行われています。今後、AI の進化や IoT の普及拡大により、これらの動きはますます加速するとともに、研究開発のみではなくマーケティングや生産、業務、経営に至る活動でもデータ解析の活用が見込まれています。

富士フイルムは、これまで画像のビッグデータ解析に機械学習を用いた取り組みを行ってきました。例えば、写真分野では、独自の画像解析技術「Image Organizer」を開発し、大量の画像から自動的に良い画像を選択し 1 冊のアルバムに編集できる「Year Album」というサービスを提供しています。また医療分野においても、CT や MRI などによる断層画像から高精度な 3D 画像を構築する 3D 画像解析システム「ボリュームアナライザー SYNAPSE VINCENT」を開発し、医療現場から高い評価を得ています。

富士フイルムは、さらに、今後本格化する高度な ICT 化に対応した情報基盤技術の強化と応用拡大を図るため、複数の研究現場に分散しているデータサイエンティスト^{※7} を集約して、新たに「インフォマティクス研究所」を設立します。「インフォマティクス研究所」では、国内外の大学や研究機関、企業との連携を強化して、ビッグデータ解析などの情報科学の最先端技術やソフトウェアの基盤技術の研究開発を行っていきます。また、将来、データサイエンティストとして活躍できる人材育成にも取り組んでいきます。

今後、「インフォマティクス研究所」で開発した情報基盤技術を、新規材料や製品、IoT 社会に適したソリューションサービスの創出に活用していきます。さらに、この技術を、精緻な需要予測に基づいた効果的なマーケティングに用いるとともに、事業計画の立案・遂行といった企業活動全般にも応用していきます。

富士フイルムは、先進独自の技術で、真の顧客ニーズを捉えた製品・サービスを開発し、新たな価値を社会に提供し続けていきます。

- ※1 Internet of Things の略で、モノのインターネットを指す。様々なセンサーを持つモノがインターネットにつながり、データを集約して、解析することでこれまで得られなかった価値を創出する仕組み。
- ※2 Artificial Intelligence の略で、人工知能を指す。記憶や学習といった人間の知的な活動をコンピューターに肩代わりさせることを目的とした研究や技術。
- ※3 Information and Communication Technology の略。IT の概念をさらに一歩進め、情報技術に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉。
- ※4 情報学や情報処理、情報システム、情報科学の分野および関連分野を指す。データ解析、AI 技術およびそれを活用するシステム基盤技術なども含まれる。
- ※5 人間が自然に行っている学習能力と同様の機能をコンピューターで実現しようとする技術・手法。人工知能における研究の1つ。
- ※6 システムがデータの特徴を学習して事象の認識や分類を行う「機械学習」の手法。データの特徴をより深いレベルで学習し、非常に高い精度で特徴を認識できる。
- ※7 膨大なデータを指すビッグデータから、ビジネスに生きる知見を引き出す専門家。

【新組織の概要】

- 1、組織名 : R&D 統括本部 インフォマティクス研究所
(英名:R&D Management Headquarters Informatics Research Laboratory)
- 2、所在地 : 神奈川県開成町(先進研究所内)
東京都内(* 本研究所の分室を設置予定)
- 3、研究開発内容 : ビッグデータ解析などの情報科学の最先端技術やソフトウェアの基盤技術の研究開発

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

【報道関係】 コーポレートコミュニケーション部 TEL 03-6271-2000